会議録

会議の名称	西東京市立学校給食運営審議会（第２回）
開 催 日 時	平成30年１月11日（木）午前10時00分から午後１時30分
開 催 場 所	田無第二中学校　会議室等
出　席　者	（委　員）松平会長、中村副会長・加登谷委員・奥田委員・伊藤委員・横張委員・福田委員・鈴木委員・金澤委員・緒方委員・金木委員・清水委員・皆川委員・新出委員 （欠　席）小林委員・押見委員 （事務局）等々力学校運営課長・近藤・石部・越川
議　題　等	〈議題〉 １　中学校給食調理及び配送の見学(谷戸小) ２　中学校給食の試食及び見学(田無第二中学校)
記 録 方 法	□全文記録　☑発言者の発言内容ごとの要点記録　□会議内容の要点記録

会 議 内 容

出席委員14名、委員数16名で過半数に達しているため、本審議会の成立を確認

議題１　中学校給食調理及び配送の見学(谷戸小学校)　10:15～10:40
(1) 調理の様子を室外から見学
(2) 田無第二中学校に配送するトラックへの荷出し、積込み状況の見学

議題２　中学校給食の試食及び見学(田無第二中学校)　10:50～13:30
(1) 到着した配送トラック及び配膳室見学
(2) 給食ができるまでのVTR(田無第二中学校作製)
VTRの視聴及び谷戸小学校栄養士より衛生管理やアレルギー対応に関して説明
(3) 中学校エレベーター及び給食コンテナ見学
(4) 献立について説明と質疑
谷戸小学校栄養士より、本日の献立に関して説明し、質疑応答。
(5) 給食試食
配送を受けた中学校用の給食を委員自ら配膳等を行い、試食
(6) 生徒の喫食状況見学
委員が校内に分散し、生徒の給食の配膳・喫食・片付け等の状況を見学
(7) まとめ
会議室に戻り、見学全般・試食を経ての感想等で総括

（主な意見等）
・保護者委員からの意見
○委員　「給食がまずい」という生徒の声を聞いていたが、美味しかった。献立が工夫されていることもわかった。盛り付けや片付けの方法が写真などで示されており、配膳もスムーズで、喫食している様子も楽しそうだった。質問だが、給食室には、冷暖房は完備されているか。
○事務局　けやき小学校以外はなし。
○委員　中学校給食は初めて食べたが美味しくてびっくりした。給食の味付けの話を聞

き、出汁をきかせ素材の味を味わうというのは大人の料理だと感じた。子どもは濃い味付けを好むと予測したが、実際に喫食している様子は、楽しそうで、良い感じだと思った。自身の子どもの頃、給食の時間は楽しかったことを思い出した。

○委員　色々な場面が見られて嬉しく思う。クラスによって雰囲気が違うが、牛乳のおかわりをめぐってじゃんけんをしている様子を見て、楽しそうな雰囲気を嬉しく思った。給食は美味しかった。

○委員　給食を調理している様子から、トラックに積み込み、中学校に運搬して教室まで運ぶ様子、教室で生徒が喫食する様子を見た。色々な方が手をかけることで給食を食べることができるということを、生徒にビデオを見せる機会を作るなどして伝えたい。そうした苦労を生徒が理解すると、行儀よく食べることができるようになると思った。自分の子どももそのように行儀よく食べているといいと思う。

○委員　中学生の娘に思いをはせながら、給食を喫食している様子を見ていた。給食ができるまでの流れを見て、本当に大変なのだと思い、改めて感謝した。教員がコンテナの鍵を持っていることをはじめて知った。中学校の栄養士が食物アレルギーを有する生徒の食事風景を見守っており、それが一番の仕事だと話していたのが印象的だった。お箸の長さについて、現在は19.5ｃｍを使用しているとのことだが、21ｃｍ程度がベストということで、いずれ改善されると良いと思う。給食は、出汁がよくきいていて、薄いとは感じなかった。我が家は、塩気が強いのかと反省した。

○委員　自身が初めて給食を食べたが、温度も十分であったし、味付けは、深みがあって、美味しかった。生徒は、男女関係なく机を合わせて喫食しており、かわいく思うと同時に楽しそうだと感じた。喫食時間が十数分から二十分程度なのはもったいないと感じたが、学校にも時程の都合があるので難しいと思った。飲用牛乳が残っている学級もあったことが気になった。すごく良い経験ができた。

○委員　味も良かったが、調理員と生徒の手際のよさが印象に残った。調理員はいつもやっていることなのだろうが、あれだけの量のご飯をかき混ぜたり、白玉をこね続けたりという仕事をしていただけるのはありがたい。生徒は配膳に慣れている様子で、コンテナをあけ、素早く食缶を運び出して並べ、手際よく盛り付けていた。海外では子どもに掃除や配膳をやらせるべきかどうかという論争を見るが、個人的には、掃除や配膳といった作業が学校の生活に組み込まれているのはよいことだと思う。せっかくの給食だが、たくさん食べる生徒がいる反面、ご飯を二口残して食缶に戻した男子生徒と全部食缶に戻した男子生徒がいた。最近は、糖質が敵のように言われているが、糖質を全部カットするとかえってリバウンドするので、正しい知識を得る機会があったらいいと思う。

・学校委員からの意見

○委員　中学校の給食を先に作り、その後小学校の給食を作っていることを改めて知った。様々な場面で大変な労力をかけて、生徒は給食を食べることができていることがわかった。ただ、そうしたことを生徒は知らない。授業や学活で生徒に感謝の気持ちやたくさんの手がかかっていることを伝えていきたい。

○委員　質問があれば受けたいと思う。

○委員　小学校は、時間内に食べ終わらない場合は、残って食べていいことになっているそうだが、中学校ではどうか。

○委員　食器を片付け終わるまで食べていて良いことになっている。コンテナを戻す時間もあるので、それ以上は難しい。

○委員　早く食べ終わった生徒が外にでることはあるか。

○委員　「ごちそうさま」の挨拶が終わるまでは座っていることにしている。落ち着いた雰囲気で給食時間を過ごすことができるのは、学校が落ち着いている証拠である。

○会長　コンテナに鍵がかかっていて、それを担任の先生があけるのがよいと感じた。配膳員が生徒に渡すということはどこの学校も行っているが、そこから教室に行くま

でにいたずらが起こることがある。
○委員　担任も鍵を持っているが、職員室に学年用の鍵を用意し、副担任も鍵をあけられるよう工夫しているので、鍵の開閉が要因で給食時間が短くなることはない。大人にとっては短いと感じるだろうが、中学生にとっては短いとは感じない時間である。給食時間が今よりも長いと、時間を持て余す生徒も出てくるだろう。そうした観点からもぎりぎりのところを見計らっている。
○委員　給食は安全・安心で美味しいのが当たり前だと考えるが、それがきちんと守られていると感じた。喫食時間について、中学生には適度の時間とのことだが、生活習慣病予防の観点からは、難しさを感じる。献立表をみるとバラエティに富んでいることがわかる。同じ魚でも、焼く、煮る、揚げるというバリエーションがあり、同じ揚げるという調理法でも味付けが全て違い、同じような味付けのものや組み合わせは一回もない。家庭では、特定の味付けと調理法に偏るが、この献立はバラエティに富んでいる。食育の視点から、献立を教材として使用したり、献立の意図を理解したり味わったりする時間をとってほしいと思う。また、噛む回数によって、口中調味で味が変わり、食べた後の胃の調子も変わるが、そういったところも時間的に難しい現実がある。給食は生きた教材であり、毎食美味しいだけではなく、文化や料理の組み合わせも含めて理解してほしいが、現場では様々なことが大変で難しいと感じた。食べたことがないものは苦手に感じることが多く、「慣れていて嬉しい」ではない感情を、「まずい」と表現してしまうところがあると思うが、背後にあるストーリーが伝わる中で受け入れられていくということがあるので、そんな食育のあり方を考えさせられた。
○副会長　じっくりと中学校給食の様子や作業工程を見ることは、小学校の現場にいてもなかなかないので、楽しく、色々なことを感じる時間になった。生徒が手際よく準備をして、よく噛んで喫食している印象だった。小学校ではおしゃべりに夢中で食事が進まない児童の指導をすることもあるが、中学校の生徒は、男子生徒と女子生徒が向かい合っておしゃべりをしすぎることもなくほほえましく食べているという印象をもった。調理員も、非常に手際よく、クルクル動いていて効率的に仕事をしているが、非常に重労働だと感じた。調理員が作業ごとにエプロンの色を変えたり、毎日写真をつけて配膳や片づけがスムーズにできるよう工夫したり、普段見ることのないような手の内を見る貴重な機会だった。ここに感じた工夫や配慮をそれぞれの立場で子どもに伝えていくべきことだと感じた。日本の教育は、給食指導や清掃指導があり、その中で全人的な教育をして人格形成を考えているということが大きな特徴だと思っている。そのために、教員が全ての時間を子どもたちに注いで指導し声をかけており、だからこそ日本の子どもたちがこうして育っていると改めて感じた。
○会長　本日の議題は以上である。教育には三つの目が必要である。鳥の目、虫の目、魚の目である。鳥の目とは、広い視野で見なさいということ、虫の目とは詳細まで見なさいということ、魚の目とは流れをしっかり見なさいということ、私たちはそれに心の目を持って子どもたちに豊かな給食を提供できるよう議論を深めていこう。
○事務局　次回は、2/22（木）を予定している。次回は、親子給食の関係で変化が現れそうな学校があるので、教育委員会の考えを示し、議論していただきたい。
○会長　これからも西東京市の子どもたちのために、よりよい給食をめざして有意義な話し合いが出来ればいいと思う。次回は審議ということなので、本日の試食を生かして活発な議論をしていきたい。

閉会